



校歌「この青春のときに」の第1節にある「明日を夢見て鳥たちが飛んでゆく」から「鳥」をかたどり、この鳥に学生の将来へ向う大きな希望と、総合衛生学院の発展を託している。また、総合衛生学院の所在地である渡利地区は、花見山に代表されるように花の里であることから「花」をあしらい、その花卉は6学科を表している。すなわち、六弁の花をのせて鳥が飛び立つ姿がデザインされたものである。

文字は総合衛生学院の「衛」となっている。

配色は、鳥を光り輝く「金」、花はやさしさを表す「ピンク」、文字は格調の高さと全体のバランスから「金」となっている。

このデザインは、学生から校章図案を公募し、応募作品の構想を基礎として、さらに校章制定委員会の意見を参考にして、故福島大学教育学部教授白沢菊夫先生がまとめたものである。